

# 平成18年度 第25回東日本大学男・女バレーボール選手権大会

## ～ 競技・審判上の確認・注意事項 ～

- 1 本大会は平成18年度(財)日本バレーボール協会6人制規則による。
- 2 **本大会は全て5セットマッチ**とし、3位決定戦は行わない。
- 3 チームの構成は、有効にエントリーされた部長・監督・コーチ・トレーナー・マネージャー各1名及び、競技者18名の中から試合毎に12名の選手をエントリーすること。
- 4 **メンバー届を各会場本部へ前試合の第1セット終了まで(第1試合の場合は30分前まで)に提出し確認を受けること。(確認が終わるまで本部から離れないこと)**
- 5 **メンバー届提出後のエントリー変更は原則的に認めない。**また、部長以外(監督・コーチ・トレーナー・マネージャー)の役員を変更する場合は**特段の理由があり各会場の競技責任者が認める場合に限り臨時役員変更届を提出することによって認める。**
- 6 **全日本大学バレーボール連盟に有効に登録されていない選手及び本大会にエントリーされていない選手が試合に出場した場合は不戦敗の対象となり、その試合は没収される。**
- 7 **ユニフォームのナンバーの大きさは、17年度4月より完全実施を行っている、ルールに従い、胸部の高さが最小限15cm、背部の高さは最小限20cm、ナンバーの字幅は最小限2cmのものでなければならない。上記以外のユニフォームの着用は認められない。**
- 8 **リベロ・プレーヤーのユニフォームについても17年度4月より完全実施を行っている、他の競技者と対照的で異なる基調な色のユニフォームにナンバーを付けたものを着用しなけばならず、リベロ・ベストの着用は認められない。**
- 9 試合開始予定時刻について、6月29日の第1試合は**11時30分**、6月30日・7月1日の第1試合は**9時30分**とし、7月2日の男女準決勝は**9時30分**より、決勝は**12時30分**とし、**女子から行う。**(決勝開始時刻は前試合の経過により遅れる場合がある)
- 10 第2試合以降の開始時刻の指定はしないが、**前試合終了10分後にプロトコールに入る。雨天時及び練習場がない場合も同様とする。また、連続試合となる場合は前試合終了1時間後にプロトコールに入る。**
- 11 **チームが正当な理由なしに定められた時間(試合開始時刻15分後)までに競技場に現れない場合は、不戦敗を宣告される。**その為、会場には余裕を持って到着しておくこと。また、試合の進行状況によってはコートを変更して行う場合もあるので、他のコートの進行状況にも注意しておくこと。
- 12 公式練習はサブ権を得たチームからそれぞれ**5分間**ずつ、合同の場合は**10分間**とする。但し、**第1試合の場合は、それぞれ3分間**ずつ、合同の場合は**6分間**とする。

1 3 公式練習前に監督及びチームキャプテンは、第1セットのライン・アップ・シートを副審または記録員に提出すること。

但し、記録員が記録用紙に記入した後、ライン・アップ・シートの訂正は認められない。

1 4 公式練習時には、本大会にエントリーされている選手（最大18名）のみが、アップの補助のためにアリーナに入ることを認める。また、アップ中は隣接するコートにボールが入らないようにボールキーパーを配置すること。

1 5 全試合3ボールシステムにて行う。従って、デット後のボールは速やかにコート外へ出すこと。相手コートに転がした場合は遅延警告の対象となるので注意すること。

1 6 記録員（2名）、ラインジャッジ（4名）、点示員（2名）、ボール・リトリバー（6名）ボールコントローラー（2名）の計16名は参加チームの分担で行う。

第1試合は第3試合の両チームが分担し、記録員・ラインジャッジ・ボールコントローラーを組合せ表上側のチームが行い、点示員・ボール・リトリバーを組合せ表下側のチームが行う。

第2試合以降は敗戦チームが担当すること。また、人数が不足するチームに対しては、勝利チームに協力を依頼すること。

1 7 ラインジャッジ、点示員、ボール・リトリバー、ボール・コントローラーについてはチームで統一された服装（ユニフォーム可）で行うこと。また、以下の事項を守り任務を遂行すること。

共通注意事項 担当する試合のプロトコール開始までに記録席に集合すること。

記録員 プロトコール開始前に本部より公式記録用紙を受け取ること。

ラインジャッジ 審判員の一人として正確なジャッジをし、途中交代は出来ない。

点示員 常に正確な点示を心がけ、セット表示も正確に行うこと。

試合前にチームプレートを本部までとりにくこと。また、試合終了後は本部に返却すること。

ボール・リトリバー ラリー中は中腰姿勢で行い、座り込んだり、立ったりしないこと。

ボールをサーバーに渡すとき以外は投げずに、迅速に床に転がすこと。

サーバーにボールを渡す者は、インプレー中、ボールを保有しておくこと。

ボール・コントローラー ベンチの反対側に待機し他のコートのボールが入り込まないようにすること。特にアタックライン付近からネット際に転がってくるボールに注意すること。

ラリー中はボール・リトリバーと同様に中腰姿勢で待機すること。

1 8 チーム役員について、部長・監督は原則として季節に応じた正装とする。但し、トレーニングウェアを着用する場合は統一されたものを着用する。部長・監督が正装、コーチ・ト

レーナー・マネージャーが統一されたトレーニングウェアを着用してもよい。

役員章については、以下の通りとする。

役員章 チーム役員は有効にエントリーされ、部長・監督・コーチ・トレーナー・マネージャー章（6 cm 程度の白地の円台に部・監・C・T・M の文字を入れたもの）を左胸に付けなければ、ベンチに着席出来ない。

また、チームキャプテンは長さ 8 cm、幅 2 cm のユニフォームと異なった色のマークを胸の番号の下に明瞭に付けること。

- 1 9 ゲーム中、ワイピングはコートの手が行うのでワイピング用の布を用意しなければならない。また、クイックモッパー 2 名もチームが行うが服装は選手と異なる統一されたもので、ベンチの両側に 1 名ずつ待機し迅速に行うこと。

あくまでもワイピングに徹し、ゲーム中は応援ならびにチームのマネジメント行為（ドリンク・アイシング作り等）を一切行ってはならない。クイックモッパーの応援は警告の対象となるので、注意すること。

また、モップを扱う場合は、安全性を考慮してモップは絶対にフェンスに立てかけておかないこと。

- 2 0 試合開始前、タイムアウト、テクニカルタイムアウト、及びセット間におけるワイピングはベンチの控え選手または、クイックモッパーが必ず行うこと。

- 2 1 試合前の待機中のチームは

前試合終了後の挨拶が終了するまでアリーナに入ることを禁止する。

ボールをボールカゴから出して手に持つ事も禁止する。（ボールはカゴに入れたままにする）

- 2 2 競技場の安全を確保するためにボールカゴおよび部旗等は公式練習が終了したらアリーナ外の壁際まで下げること。部旗は壁に立て掛けず、床に置くこと。

- 2 3 競技中の中断の要求が出来るのは監督とゲームキャプテンだけである。

- 2 4 監督は、ラリー中、試合を妨害あるいは遅延しない限りアタック・ラインの延長線からウォーム・アップ・エリアまでのフリー・ゾーンの範囲以内では、立ったままであるいは歩きながら指示を与えることができる。

- 2 5 リベロ・プレーヤーはチームキャプテンにはなれるがゲームキャプテンにはなれない。

- 2 6 リベロ・プレーヤーが負傷した時は、主審の許可を得てコート上にいない新たなプレーヤーをリベロ・プレーヤーとして再登録することが出来る。（この場合に限りリベロ・ベストの着用を認める）

- 2 7 決勝戦は、競技者交代時にナンバーカードを適用する。